

センター通信



中学生が自分で作る弁当の日

伊丹市立南中学校

校長 小島 朗

昨年度、本校は「中学生が自分で作る弁当の日」に取り組みました。1月と2月に1回ずつ実施し、それぞれ「おにぎり弁当」「三色弁当」とテーマを設定しました。生徒会の保健委員会のメンバーは、2学期から掲示板にポスターを貼ったり、事前に試行的に作ったマイ弁当を持ち寄り問題点を整理したりしながら、みんなに啓発活動を行いました。また、朝の慌ただしい時間帯での弁当づくりなので、ご家庭の協力なしにはできません。PTA役員会や学校だよりを通じて、保護者へ協力をお願いしました。

眠い目をこすりながらの慣れない作業で大変だったと思いますが、この取り組みはご家庭の協力で大きな成果がありました。家族と一緒に食材を買いに行ったり、弁当のプランを立てたりする中で、普段家庭であまりしないような会話ができたそうです。さらに、弁当づくりの大変さを実感し、改めて日頃弁当を作ってくれるご家族に対する有り難みや感謝の気持ちを感じた生徒も多かったようです。中には、自分の弁当だけでなく幼い弟の弁当も作り、「お友達が、お姉ちゃんの作ってくれた弁当かわいいーって言ってたよ」と幼稚園から帰宅した弟の言葉で、家庭の中が盛り上がったという話が聞けました。

以前勤務していた学校で、友達の鞆からこっそり弁当を盗って食べるという生徒がいました。また、突然の病で母親が亡くなった生徒宅に、朝、弁当づくりを指導しに家庭訪問した担任の先生がいました。人が自立していく上で、自分で食を確保することは、とても大事なことです。食は、心の安定をもたらし、自分の生き方を冷静に見つめ、ものごとをしっかりと考える最初の一步です。

児童虐待や高齢者虐待が社会問題化し、相談件数も年々増加しています。家庭の中で子ども達は孤食が普通になり、家の中にも会話をせずにメールをしあうことも珍しいことではないと聞きます。食は、人を笑顔にし、家族や集団の絆を築くために、大きな力を持っています。

今、目の前にいる生徒たちも、あと10年足らずで成人し、あと10年もすれば多くの人が親になります。「弁当の日」の体験が、近い将来、自分の生活や家庭生活の営みに役に立てばと願っています。

少年補導委員連合会総会終わる

去る4月26日(金)に、平成25年度伊丹市少年補導委員連合会総会が伊丹市立総合教育・少年愛護センターで開催されました。来賓として伊丹警察署からは股座史朗刑事生活安全官、高橋裕文生活安全課課長、また、主催者側として教育委員会から、田中裕之生涯学習部長、小長谷正治副参事など多くの方々に出席いただき、宮北会長のごあいさつ、ついで座刑事生活安全官と田中部長にごあいさついただきました。ついで少年愛護センターの紹介がありました。開会行事後、神津ブロックの鈴屋理事が議長に選出され、滞りなく議事は進行し、平成24年度事業報告、決算報告が承認されました。平成25年度の青少年の健全育成と非行防止に向けた事業計画並びに予算も決定され、今年度の活動がスタートいたしました。

子ども達の健全な育成のためには、家庭や地域、学校により一層の連携・協力が重要であるといわれています。伊丹市の子どもの現状を見ますと、各地域における大人の協力、特に、少年補導委員の活躍が期待される所です。伊丹市少年補導委員連合会のさらなる発展のために、市民の皆様のご理解とお力添えをいただきますようお願いいたします。



少年補導委員の活動内容

少年補導委員は、市内17小学校区毎に6~10人で構成され、青少年に対する理解と愛情及び非行防止に対する熱意をもとに、互いに密接な連絡と協力をもって大きな成果をあげていただいております。主な活動内容を紹介しますと、

1 問題行動の早期発見と補導活動

- 各地区ごとに街頭補導を月に4~5回ずつ行う「愛の一声」運動や、小学生の登下校時の特別補導などを行っています。

2 有害環境等の情報収集と報告活動

- 「青少年を守る店」協力店への加入依頼活動やビデオ店・カラオケ店・図書販売店・がん具類取扱店等の実態調査をしています。

3 青少年の非行防止活動

5月の主な行事

8日(水) 伊丹市少年補導委員連合会
役員会・定例理事会
10日(金) 青少年を守る日 一斉補導・市内広報
13日(月) 伊丹市青少年を守る店連絡協議会
第1回役員会

14日(火) 伊丹市少年進路相談員連絡会
16日(木) 合同教育相談
17日(金) 県青少年補導センター連絡協議会総会・
県青少年補導委員連合会総会
21日(火) 有害図書回収(市内16箇所白ポスト)
31日(金) 伊丹市少年育成協会総会・研修会

※ 「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel: 780-3540)までお寄せください。

- 学校・PTA・自治会との連絡会に出席して、情報交換や健全育成についての意見交換をおこなっています。

4 その他

- 少年に危険な場所や状態を関係機関に連絡したり問題行動の相談を受けたりしています。また、青少年問題についての認識と補導の力量を高めるための研修をしています。

このように、少年補導委員のみなさんにはボランティア精神を発揮して、学校・地域・家庭を結びつける重要な役割を果たしていただいております。

加えて、各地域においても、自治会や地区社協の青少年の健全育成活動と一体となった活動の広がりを推進していただいております。

◆街頭補導の件数 《平成25年4月》

	小	中	高	その他	計
声かけ・会話等	175	39	14	18	246
遊びに関して	29	8	2	0	39
ぐ犯・不良行為	0	5	4	0	9
交通に関して	11	18	64	160	253
計	215	70	84	178	547

◆電話・来所相談の件数 《平成25年4月》

	電話相談	来所相談
件数	24	0
前月比	+19	±0
累計	0	0

◆白ポスト回収状況 《平成25年4月》

	数量	前月比	累計
有害図書	288	-39	
有害AV	594	+20	
計	882		882

白ポスト設置場所(市内16箇所)

車塚公園・阪急稲野駅・南センター・阪急新伊丹駅・阪急伊丹駅・いたみホール
バラ公園バス停・荒牧バス停・北センター・中野西公園・裁判所前・山田バス停
女性児童センター・JR伊丹駅1F・JR北伊丹駅南口・西桑津バス停